

## 山梨大学(武田1)ゼロエミッションみらいラボ(仮称)新営工事

## 質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
1	S-001 特-02	土工事の埋戻し及び盛土について、 S-001図構造関係特記仕様書(1)ではA種・B種共に適用ですが特-02図特記仕様書-2ではB種のみ適用です。 B種が正と考えてよろしいですか。	1	宜しいです。
2	S-001 特-02	土工事の埋戻し及び盛土B種について、 B種の仮置場所をご指示下さい。	2	A-02図に示しています。
3	A-04 A-17	防湿シートについて、 t0.15と考えてよろしいですか。	3	宜しいです。
4	S-001	砂利地業について、 仕様する砂利は切込砂利、切込碎石、再生クラッシュランとありますが、 再生クラッシュランを正と考えてよろしいですか。	4	宜しいです。
5	S-001	鉄筋の継手について、 ガス圧接と機械式継手が共に適用ですがガス圧接が正と考えてよろしいですか。	5	ガス圧接を標準としますが機械式継手も対応可能とします。
6	S-001	鉄筋の定着について、 一般定着とプレート定着が共に適用ですが一般定着が正と考えてよろしいですか。	6	一般定着を標準としますがプレート定着も対応可能とします。
7	S-001	ガス圧接の超音波探傷試験について、 適用となっていませんが超音波探傷試験を行うと考えてよろしいですか。	7	原則引張試験とします。
8	S-020	FGX1・FGX2・FGX4の端部位置について、 基礎梁リストの位置がY通りを示していますがX通りと考えてよろしいですか。	8	宜しいです。
9	S-020	FGX4について、 梁サイズの記入がありませんがW600xH1800と考えてよろしいですか。	9	宜しいです。
10	S-021	柱フープについて、 溶接閉鎖型とありますが中子筋はH型(たが型)と考えてよろしいですか。	10	宜しいです。
11	S-021	C4基礎梁仕口内フープについて、 特記を除きに基礎梁仕口内フープが3-3-D13-@150とありますがC4-1階はフープにS13を使用しているのでC4基礎梁仕口内フープは3-3-S13-@150と考えてよろしいですか。	11	基礎梁仕口内フープは全て“3-3-D13-@150”で宜しいです。
12	S-012 S-022	2階GX3Aについて、 リストがありますが伏図にありません。 Y5通りX2～X3通端のGX3がGX3Aと考えてよろしいですか。	12	宜しいです。
13	S-029	段ばな筋について、 Sec.Bは1-D13のみですがSec.b1では1-D10・1-D13・1-D16です。 下段ばな筋が1-D10・上段ばな筋が1-D13と考えてよろしいですか。	13	宜しいです。
14	S-011 A-06	捨てコンクリートの範囲について、 基礎伏図は全面捨てコンクリートですがピット平面図は埋戻しとEVピットがあります。 ピット平面図が正と考えてよろしいですか。	14	宜しいです。
15	S-011 S-020 A-11	捨てコン厚さについて、 矩形図で捨てコンクリート及び基礎梁の捨てコン厚がt100ですが構造図に捨てコンクリートの捨てコン厚は明記無く基礎梁の捨てコン厚はt50です。 捨てコンクリート及び基礎梁の捨てコン厚はt100と考えてよろしいですか。	15	宜しいです。

山梨大学(武田1)ゼロエミッションみらいラボ(仮称)新営工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
16	A-21	捨てコン内ワイヤーメッシュについて、ピット釜場部分詳細図で6φ100メッシュを使用していますが釜場+450範囲外は6φ100メッシュは不要と考えてよろしいですか。	16	宜しいです。
17	A-21	ピット釜場立上について、釜場立上がt120ですがt120+ハンチ(45~60°程度)としてもよろしいですか。	17	宜しいです。
18	S-025 特-04 A-32	耐震スリット幅について、特-04図で25ですが、S-025図では25mm以上かつスリット長さのh0/100以上とするとあります。垂直スリットは25mm以上かつスリット長さの1/100以上(5mm刻み)、水平スリットは25と考えるとよろしいですか。	18	宜しいです。
19	S-008 S-020 A-20	耐震スリットの振止筋について、下記の様になっていますが振止筋は垂直・水平共に必要と考えるとよろしいですか。 ・S-008図:振止筋は水平スリットのみとすると記載あり ・S-025図:垂直スリット断面に振止筋無し・水平スリット断面に振止筋有り ・A-20図:垂直スリット断面に振止筋有り・水平スリット断面に振止筋有り	19	垂直スリットには振れ止め筋は不要です。
20	A-22	床スリットについて、1階 段はじめ部分の耐震スリット厚25左側の斜め格子模様の詳細をご指示下さい。	20	既製品水平スリット材を示します。 振止筋について、質疑回答:No21も参照下さい。
21	A-22	階段床・柱際スリットについて、振止筋は不要と考えるとよろしいですか。必要な場合は詳細をご指示下さい。	21	不要です。
22	S-008 S-020	人通孔の補強要領について、S-008図では既製品補強ですがS-020図では在来補強です。在来補強が正と考えるとよろしいですか。	22	構造計画としては在来・既製品どちらでも対応可能とします。
23	S-001 S-008	梁貫通孔の既製品補強について、既製品はダイヤレンS同等で1か所当り2枚と考えるとよろしいですか。	23	宜しいです。
24	A-22	梁貫通孔補強について、A-22図で梁貫通補強のリストがありますが100φ未満は補強不要と考えるとよろしいですか。	24	基本不要とします。 ただし梁貫通位置については事前に承認を得ることとします。
25	A-08	鉄骨架台について、設備基礎400角計10か所上に2本ありますが他の設備基礎には不要と考えるとよろしいですか。	25	宜しいです。
26	特-06	建物・共同溝接続レンヂについて、工事区分表で建築工事に適用となっていますが詳細が不明です。建物・共同溝接続レンヂは該当無しと考えるとよろしいですか。否の場合は図面をご指示下さい。	26	宜しいです。
27	特-02	屋上断熱露出シートの脱気装置について、75m2/か所と考えるとよろしいですか。また、仕様詳細をご指示下さい。	27	ルーフィングシートの製造所の仕様によります。
28	A-08	屋上鉄骨架台について、溶融亜鉛メッキ仕上と考えるとよろしいですか。	28	宜しいです。
29	-	以下の項目のメカ品番をご指示下さい。 ・DP塗装 ・複層塗材Si ・600x300角タイル	29	外壁仕上げは複層塗材Siではなく多意匠性装飾仕上塗材となります。特-03、A-04を参照下さい。 DP塗装 エスケー化研:クリーンマイルドフッソ同等程度 タイル アドヴァン:モルジュII同等程度

## 山梨大学(武田1)ゼロエミッションみらいラボ(仮称)新営工事

## 質疑に対する回答について

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
30	A-04 特-03	複層塗材SIIについて、 29番の回答次第にもなりますが、ローラー塗に対応していない場合、吹付と読み替えてもよろしいでしょうか。	30	質疑回答:No29を参照下さい。
31	A-04	バルコニー及びエントランス-子の廻縁(目透し)について、 塩ビと考えるとよろしいですか。	31	バルコニー:ケイカル板については宜しいです。 木毛セメント板については見切材無し透かしとします。
32	A-18	北・西・南面外壁 スチール-パ-足元のモルタル詰について、 A-18図で無収縮モルタルと防水モルタルの記載がありますが、無収縮モルタルと考ええ	32	宜しいです。 無収縮モルタルとします。
33	-	壁ビニルクロス張について、 下地PB面にシ-ラ処理が必要と考えるとよろしいですか。	33	ビニルクロスはありません。
34	A-35	壁の木練付合板について、 A-35図で出隅アルミ金物とありますが、厚み・表面仕上・断面寸法等の詳細が不明です。断面詳細をご指示下さい。	34	(株)創建:53168(十字型)焼付塗装同等程度
35	A-05 A-21	外壁部 LGS壁(壁符号L0-L)について、 A-05図:GB-RH厚9.5+GB-R厚12.5 A-21図:GB-RH厚9.5+GB-F厚12.5 GB-RH厚9.5+GB-R厚12.5を正と考えるとよろしいですか。	35	宜しいです。
36	A-21	耐火壁 開放端部見切縁について、 A-21図(W3:LGS耐火壁 開放端部-1)でスチール-パ-の見切縁がありますが、施工範囲が不明です。該当なしと考えるとよろしいですか。	36	宜しいです。
37	-	天井下地軽量鉄骨について、 耐震補強は必要でしょうか。必要な場合は詳細をご指示下さい。	37	該当箇所はありません。
38	A-04	断熱材吹付について、 A-04図で外気に接する床 ノンフロン系断熱材A種1 厚30とありますが、施工範囲が不明です。無しと考えるとよろしいですか。	38	宜しいです。
39	A-04 A-17	断熱材吹付について、 A-017図 風除室廻り矩計図-1でY5通り梁側の断熱材が厚25とありますが、A-04図で厚25はありません。外壁と同様に厚35と考えるとよろしいですか。	39	厚25としてください。 A-04図に示しています。
40	A-27	AWサッシの額縁について、 A-27図のAW-7/8/9/10 部分詳細図で縦枠がW50とありますが、AW 平面部分詳細図でW50となるか所が見当たりません。適用か所を平面図にてご指示下さい。	40	A-27図に示しています。
41	A-15 A-31 A-35	1F 風除室 壁の木練付複合板について、 A-35図でELV面壁の出隅コーナーに出隅アルミ金物とありますが、A-31図ではありません。風除室壁の木練付複合板の出隅コーナーもその他と同様にアルミ金物を見込むと考えるとよろしいですか。	41	宜しいです。
42	A-05	1F 共同実験室の黒板について、 A-05図(備考欄)に黒板とありますが、仕様詳細が不明です。ご指示下さい。	42	黒板は無し(本工事外)とします。
43	A-05 A-23	1F ホンペ庫-1の梁型(外壁側)について、 A-05図でGB厚50とありますが、A-23図ではGW-B厚25です。GW-B厚50を正と考えるとよろしいですか。	43	宜しいです。
44	A-04 A-05	1F 風除室の点字鋲について、 A-05図(備考欄)で点字鋲(SUS+樹脂製)とありますが、A-04図で屋内樹脂製とあります。風除室の点字鋲はSUS+樹脂製と考えるとよろしいですか。	44	風除室、EVホールはSUS製、階段は樹脂製とします。

## 山梨大学(武田1)ゼロエミッションみらいラボ(仮称)新営工事

## 質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
45	A-05 A-23	1F 廊下-1の天井について、 A-05図でCH2700とありますが、A-23図でCH2700はありません。全て直天と考えてよろしいですか。	45	宜しいです。
46	A-15 A-21	4F ラウンジ～廊下1間の袖壁について、 袖壁端部に見切枠 スチールPL-130x4+EP-Gを見込むと考えてよろしいですか。	46	枠無しとします。
47	A-05 A-24	2～4F 緊急シャワ-の天井について、 A-05図でGB-D厚9.5(CH2700)とありますが、A-24図では直天です。 GB-D厚9.5(CH2700)を正と考えてよろしいですか。	47	直天井となります。
48	A-22 A-29	WCの姿見について、 洗面台鏡と同様にt5枠無し(シリング納め)と考えてよろしいですか。	48	宜しいです。
49	A-29	1F 多機能WCについて、 A-29図でライニング及び衛生設備機器の記載がありますが、 -1)全て設備工事(多機能イレバック)と考えてよろしいですか。 -2)建築工事の項目がある場合は、項目とメーカー品番をご指示下さい。	49	全て設備工事とします。
50	A-29	1F 多機能WCについて、 A-29図でヘビ-ヘッド及びフィッティングホ-ドがありますが、工事区分が不明です。設備工事と考えてよろしいですか。	50	全て設備工事とします。
51	A-29	前項質疑否(ヘビ-ヘッド及びフィッティングホ-ドが建築工事)の場合、 メーカー品番をご指示下さい。	51	質疑回答:No50を参照下さい。
52	A-29	1F 多機能WC 鏡について、 建築工事とし、TOTO:YM6090A程度を見込むものと考えてよろしいですか。	52	建築工事にて図示の鏡を見込みます。
53	A-06 A-21	ビ-ト 釜場 排水溝の仕上げについて、 けい酸質系塗膜防水と考えてよろしいですか。	53	ウレタン系塗膜防水とします。
54	A-06 A-21	ビ-ト連通管について、 排水溝が地中梁を貫通する部分に連通管(VPφ150半割)を見込むと 考えてよろしいですか。	54	基礎梁下に排水のための溝が通る形式とし、基礎梁底部の連通管は 無しとします。
55	EV-03	ELVビ-ト 塗膜防水について、 けい酸質系塗膜防水と考えてよろしいですか。	55	ウレタン系塗膜防水とします。
56	特-06 A-04 EV-03	ELVシャ-ト 煙感知器用点検扉について、 A-04図で既製品:感知器用スチ-ル開扉170角とあり、特-06図では電 気工事とありますが、EV-03図では堅穴区画対応防火扉(建築工事) とあります。煙感知器用点検扉は電気工事と考えてよろしいですか。 建築工事の場合はメーカー品番をご指示下さい。	56	全て設備工事とします。
57	特-04 A-04 A-21	床点検口について、 A-04図:アルミ製 特-04・A-21図:ステンレス製 ステンレス製を正と考えてよろしいですか。	57	ステンレス製とします。
58	A-23 A-27	1F 風除室の天井点検口について、 A-23・27図で自動ドア点検口がありますが、仕様が不明です。ご指示 下さい。	58	A-27図の通りとします。

山梨大学(武田1)ゼロエミッションみらいラボ(仮称)新営工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
59	特-06 A-27	フラインドについて、A-27図でフラインド取付用補強材とありますが、特記仕様書・工事区分表にフラインドの記載はありません。フラインド取付用補強材のみ本工事と考えてよろしいですか。フラインドが本工事の場合は施工範囲・仕様・メーカー・品番をご指示下さい。	59	補強材のみ本工事にて宜しいです。
60	特-03	鍵箱について、市販品 60組用を1か所見込むものと考えてよろしいですか。	60	宜しいです。
61	—	消火器・消火器ボックスについて、建築工事と考えてよろしいですか。	61	消火器ボックスのみ建築工事とします。
62	—	前項質疑正(消火器が建築工事)の場合、消火器の仕様をご指示下さい。	62	質疑回答:No61を参照下さい。
63	A-07 A-08 A-40	代替進入口サイン(SG-12)について、A-40図で20か所(3階×10か所/4階×10か所)とありますが、A-07・08図で非常用進入口に代わる窓が22か所(3階×11か所/4階×11か所)です。22か所を正と考えてよろしいですか。	63	宜しいです。 A-40図に示しています。
64	—	下記の項目について、メーカー・商品名・品番をご指示下さい。 ・600x300角タイル ・汚垂タイル ・防塵塗装 ・ビニル床タイル(VT) ・ビニル床シート(耐薬VS) ・ビニル床シート(抗菌VS) ・化粧けい酸カルシウム板(WC壁) ・埋込型消火器ボックス ・自立型消火器ボックス ・流し台L1200(4階ラウンジ) ・トイレ・ス ・点字鋲(SUS+樹脂製) ・点字鋲(樹脂製)	64	・600x300角タイル 質疑回答:No29を参照下さい。 ・汚垂タイル TOTO:ハイドロセラ同等程度 ・防塵塗装 ※指定無し ・ビニル床タイル(VT) 東リ:ダイナミックストーン同等程度 ・ビニル床シート(耐薬VS) 東リ:ファクトリウム ケミ同等程度 ・ビニル床シート(抗菌VS) 東リ:消臭トフレNW同等程度 ・化粧けい酸カルシウム板(WC壁) ※指定無し ・埋込型消火器ボックス ユニオン:UFB-1F-2720-PWH同等程度 ・自立型消火器ボックス ユニオン:UNION:UFB-3F-911同等程度 ・流し台L1200(4階ラウンジ) LIXIL:Tio同等程度 ・トイレ・ス 小松ウオール:TB-TPb同等程度 ・点字鋲(SUS製):ナカ工業 ガイドステップJtype同等程度 ・点字鋲(樹脂製):ナカ工業 ガイドステップRtype同等程度
65	特-03 A-25	アルミニウム製建具の性能について、A-25図アルミニウム製建具特記事項で別紙特記仕様によるとありますが、特-03図では複数の性能表記があり、建具表によるです。すべて耐風圧性S-5・気密性A-4・水密性W-4と考えてよろしいですか。	65	宜しいです。 質疑回答:No89も参照下さい。
66	特-03 A-04 A-25	アルミニウム製建具の表面処理について、A-25図で二次電解とありますが、A-04図では二次電解着色/アルマイトです。特-03図からすべてBB-2種(電解二次着色)で見込むと考えてよろしいですか。	66	全てBB-2種(電解二次着色)で宜しいです。
67	A-25	アルミニウム製建具の網戸について、A-25図でAW-1・2・5・11~14・17に設置とありますが、仕様は以下のように考えてよろしいですか。 ・AW-1・2・13・17(堅すべり出し窓部):フリッツ網戸 ・AW-5・11・12・14・17(片引窓部):外部可動式網戸(合成樹脂製)	67	製造所の仕様によりますが、設計では下記を想定しています。 ・AW-1・2・13(堅すべり出し窓部):片開き網戸 ・AW-17(堅すべり出し窓部):フリッツ網戸 ・AW-5・11・12・14・17(片引窓部):外部可動式網戸
68	A-25	AW-1・2・12~15 アルミパネルの穴開け加工について、A-25図AW:アルミパネル部分の穴開け加工数に各階・各径ごとの数量記載がありますが、建具姿図の欄間パネルに図示のある穴開け加工数と相違があり、どのAWにどの穴径が該当するか不明です。各建具符号ごとの穴開け加工数・穴径をご指示下さい。(例 AW-1:φ100x2か所等)	68	総数は別途発注の設備工事の内容を反映し整理しています。 穴開け箇所は現場での調整事項・部分変更等をふまえて指示することとします。
69	A-25 A-26	上記質疑に関連して、SD-4の穴開け加工について、A-26図に穴開け加工の図示がありますが、穴開け加工数・穴径をご指示下さい。	69	200φ相当×2箇所、50φ相当×1箇所、80φ相当×1箇所とします。

## 山梨大学(武田1)ゼロエミッションみらいラボ(仮称)新営工事

## 質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
70	A-07 A-08 A-25	AW-1・2(3・4階)について、 A-07・08図で非常用進入口に代わる窓となる対象建具に△図示がありますが、A-25図で特に記載がないため、ガラス破壊進入するものとし、外部ハンドル等は不要と考えてよろしいですか。	70	宜しいです。
71	A-27	AW-1・3・11~14の'ブライント'取付用補強材について、 A-27図の部分詳細図で図示がありますが、材質・仕様・寸法等詳細をご指示下さい。	71	製造所の仕様によるものとします。
72	A-25	AW-10のガラスについて、 A-25図で複層ガラス FL5+A6+FL5とありますが、AW-10のガラス面積は4.02m <sup>2</sup> です。A6では制約面積が4m <sup>2</sup> ですので、A12に読替えてよろしいですか。	72	A6とします。 A-25図に示しています。
73	A-25 A-27	AW-15の納まりについて、 A-27図の部分詳細図でアルミパネルなしの図示ですが、A-25図で欄間アルミパネルの記載があり、アルミパネルが天井内に納まる図示のため、AW-2同様の納まりと考えてよろしいですか。	73	宜しいです。 A-27図に示しています。
74	A-25 A-26	AW-18・19のガラスについて、 A-25・26図で合わせ FL5(AW-19は3)+フィルム+FL5(AW-19は3)とありますが、フィルムは中間膜(透明タイプ)30milと考えてよろしいですか。	74	宜しいです。
75	特-04 A-04 A-26	外部鋼製建具(SD-1~4)の表面仕上げについて、 A-26図でDPとあり、特-04図で等級の記載がありませんが、A-04図から耐候性塗料1級 超耐久・超低汚染型弱溶剤フッ素樹脂塗料と考えてよろしいですか。	75	宜しいです。
76	A-25 A-26	SD-1~4の気密仕様について、 A-25図の鋼製 鋼製軽量・ステンレス製建具特記事項で外部出入口の扉は全てAT仕様とありますが、A-26図ではSATです。SATを正と考えてよろしいですか。	76	宜しいです。
77	A-25 A-26	SD-1・4・5の召合わせ仕様について、 A-25図の鋼製 鋼製軽量・ステンレス製建具特記事項でAT仕様とありますが、A-26図ではSATです。SATを正と考えてよろしいですか。	77	宜しいです。
78	A-07 A-08 A-26	SD-1(2~4階)の仕様について、 A-26図でレバーハンドル錠(シリンダ錠+非常錠)とありますが、A-07・08図で非常用進入口となる3・4階建具に適用するものとし、2階建具については非常錠なしと考えてよろしいですか。	78	内側からの利用制御を踏まえ非常錠としており、全箇所必要です。
79	A-26 EV-01 EV-02	SF-4の仕様について、 A-26図でフラットハ-枠:スチールt6 EP-Gとありますが、EV-01・02図では乗場三方枠:ステンレスHL仕上・見付10の図示です。フラットハ-枠:スチールt6 EP-Gを正と考えてよろしいですか。	79	EV小枠+SF-3としています。
80	A-26	PS-1・2の仕様について、 A-26図金物等で巾木60mmの記載がありますが、内部仕上のソフト巾木を指すもの後、建具金物としては不要と考えてよろしいですか。	80	巾木部分についても建具部材とします。 (下枠にて60ミリ立ち上げ)
81	A-25 A-26	LSD-3 袖FIXのガラスについて、 A-26図のガラスでPT(強化ガラス)5とありますが、姿図ではPT6です。PT6を正と考えてよろしいですか。	81	宜しいです。
82	特-03 A-26	ステンレス製建具の簡易気密ドアについて、 特-03図のステンレス製建具に適用する(建具表による)とありますが、建具表で該当建具がありません。該当なしと考えてよろしいですか。 質疑否の場合、該当建具及び性能をご指示下さい。	82	宜しいです。
83	A-06 A-40	SSD-1A・1Bの建具数量について、 A-40図のSG-15 衝突サインで4か所(2本x2)とありますが、A-06図の風除室でSSD-1A:1か所、SSD-1B:1か所の合計2か所です。SSD-1A:1か所、SSD-1B:1か所を正と考えてよろしいですか。	83	A-40図に示しています。 サイン図の衝突防止マークは扉の枚数にて整理しています。

山梨大学(武田1)ゼロエミッションみらいラボ(仮称)新営工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
84	A-26 A-27	SSD-1A・1B 扉部の仕様について、 4方框扉ではなくスリム框扉と考えてよろしいですか。	84	宜しいです。
85	A-26	上記質疑正の場合、扉部及びFIX部の工事区分について、 扉部:建具工事、FIX部:ガラス工事と考えてよろしいですか。	85	製造所の仕様によるものとします。
86	A-06 A-40	SSD-1A・1Bの建具数量について、 A-40図のSG-15 衝突サインで4か所(2本×2)とありますが、A-06図の 風除室でSSD-1A:1か所、SSD-1B:1か所の合計2か所です。SSD- 1A:1か所、SSD-1B:1か所を正と考えてよろしいですか。	86	質疑回答:No83を参照下さい。
87	特-03 A-26 A-27	SSD-1A・1B 自動ドアの引戸用検出装置について、 特-03図で建具表による 光線式タッチスイッチとありますが、A-26図で 開閉用センサーの仕様記載はなく、A-27図のSSD自動ドア 部分詳細図 では無目内蔵センサー 補助光電センサーです。無目内蔵センサー 補助光電 センサーを正と考えてよろしいですか。	87	宜しいです。
88	A-26 A-27	SSD-1の電気錠について、 A-26図でSSD-1A:本締錠・SSD-1B:電気錠・タイマー制御とありますが、 A-27図SSD自動ドア 部分詳細図ではSSD-1Aのみ電気錠です。 SSD-1A:本締錠・SSD-1B:電気錠・タイマー制御を正と考えてよろしいで すか。	88	1A側を電気錠タイマー制御とします。
89	A-25	建具性能について、 A-25図建具性能等で耐風圧S-5以上(SSD-1:S-2以上)・気密A-4 以上・水密W-4以上・遮音T-1以上とありますが、外部建具全般に適 用と考えてよろしいですか。	89	宜しいです。
90	特-03 A-25 A-26	ガラス飛散防止フィルム張について、 特-03図及びA-25・26図に記載がありませんが、強化ガラス部分に見 込むと考えてよろしいですか。その場合、メカ-品番をご指示下さい。	90	ガラス飛散防止フィルム張無しとします。
91	特-04 A-40	衝突防止表示について、 特-04図でステンレスφ30 設置する場所は図示とあり、A-26図で該当 建具はSSD-1/SW-1・2/LSD-5・7とありますが、A-40図では衝突防 止サイン(SG-15):カッティングシート張 該当建具:SSD-1/SW-1/LSD-7 数量:215枚です。A-40図の仕様 該当建具 数量を正と考えてよろし いですか。	91	宜しいです。
92	-	外部建具の枠周囲シリングについて、 すべて二重シリング(20x10+20x10)と考えてよろしいですか。	92	建具詳細図に記載の建具納まりにより適宜判断とします。
93	S-002 S-025 A-39	土間コンクリート舗装について、 構造図(S-002・025)のコンクリート仕様及び土間コンクリート断面図と、外構 部分詳細図を比較しますと相違が御座います。 構造図(S-002・025)を正と考え、下記仕様で見込むものと想定しまし たがよろしいですか。 <想定内容> ・表面仕上 :コンクリート面金鏝(素地仕上) ・土間コンクリート :Fc18N/mm <sup>2</sup> SL18cm t=150 ※構造体強度補正は不要とする ・プライマー塗布 :プライムコート(PK-3) ・配筋要領 :D10@250 シングル格子 ・伸縮目地 :エラストマー材 W15×H150 @3.0m内 ・絶縁目地 :エラストマー材 W15×H150 ・沈下防止差筋:D13×L800 @250 ・地業 :再生クラッシャーラン(RC-40) t150 ※固化材を使用した地盤改良は不要とする	93	外構範囲のコンクリート舗装についてはA-39に示しています。
94	A-38	砂利敷t=60について、 図示の無い仕様を下記の様に想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ・砂利材:6号碎石 ・路床 :路床転圧の上、防草シート敷を見込む	94	砂利敷についてはA-39に示しています。

山梨大学(武田1)ゼロエミッションみらいラボ(仮称)新當工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
95	特-06 A-38 A-39	屋外雨水排水工事について、 工事区分表におきまして「L型・U型溝と管敷設」の項目に、建築工事を示す○印が付いていますが、雨水排水計画図が御座いません。 建築工事で見込む雨水排水工事の、見積の出来る資料をご提示下さい。	95	L型・U型溝と管敷設はありません。
96	A-38	新設CON壁について、 X3通り建物外壁との間に150mmの隙間が御座いますが、擁壁L=3850と建物躯体とを150mm離して施工するものと解釈してよろしいですか。	96	宜しいです。
97	A-39	新設CON壁の地業について、 固化材を使用した地盤改良は不要と考えてよろしいですか。	97	宜しいです。 但し、現場状況より十分な転圧が見込めない場合に於いては、屋外設備基礎同等の措置を行うものとします。
98	S-002 A-39	新設CON壁及び屋外設備基礎の鉄筋コンクリート(Fc21N-SL18cm)について、 構造特記仕様書に倣い、下記仕様を適用するものと想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ・耐久設計基準強度:標準 Fd24N/mm <sup>2</sup> ・構造体強度補正 :必要 ・単位水量 :180kg/m <sup>3</sup> 以下 ・単位セメント量 :270kg/m <sup>3</sup> 以上 ・W/C比 :60%以下	98	宜しいです。
99	特-05	緑地の植栽基盤整備と植込み用土について、 特記仕様書23章におきまして要否が不明ですが、当計画では下記の植栽基盤整備を見込むものと想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ・基盤整備:B種 ・植込み用土:現場発生の良質土 不足する場合は客土(黒土)を使用する ・有効土層:H=200	99	特-05の通りとします。
100	A-39 S-027	屋外設備基礎の地盤改良について、 図示の無い仕様を下記のように想定しましたがよろしいですか。 <想定内容> ・固化材仕様 :セメント系固化材 六価クロム溶出低減タイプ ・六価クロム溶出試験:不要 ・配合試験 :不要 ・地耐力試験 :不要	100	宜しいです。
101	A-04 A-39	DP塗装について、 メーカー品番をご指示ください。	101	質疑回答:No29を参照下さい。
102	A-38	工事範囲内の下記既存物について、 現状のまま残置し、補修や改修及びクリーニングを行う計画は無いものと考えてよろしいですか。 ①西側 既存塀+フェンス ②東側 既存集水楯	102	宜しいです。
103	現場説明図	仮設電気の分岐容量ですが現場範囲はB1号館より動力200V 125A 電灯100V 100A、現場事務所範囲でB2号館より動力200V 60A 電灯 100V 60A分岐可能ですか。	103	現場範囲は、T1号館1階電気室低圧配電盤より分岐可能。ただし、電灯は予備ブレーカがあるが、動力は、予備ブレーカが無いため新たに設置し分岐すること。 現場事務所範囲は、B2号館に電気容量が無いため東京電力と個別契約を行い引込みして下さい。
104	現場説明図	現場事務所範囲で、既存立木の枝を一部剪定してのよろしいですか。	104	宜しいです。
105	現場説明図	現場事務所範囲で、生活排水を近くの汚水楯に流してよろしいですか。	105	宜しいです。



## 山梨大学(武田1)ゼロエミッションみらいラボ(仮称)新営工事

## 質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
106	現場説明図	工事用地範囲とは別に工事車両の駐車スペースは場内に有りますか。	106	工事用地範囲内に収まらない工事車両について、駐車場が不足する場合は大学敷地外の駐車場を借りる等してください。
107	S-008	人通孔補強について、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(5)の15-5人通孔補強より既製品補強と考えるとよろしいですか。否の場合は在来補強の詳細をご指示下さい。	107	質疑回答:No22を参照下さい。
108	A-09	2~4F北・東面、スチールルバー-W250xD60xH3590について、数量書で6か所計上されていますが、立面図にはありません。なしと考えるとよろしいですか。	108	X3通りバルコニーの先端部の各階2箇所×3フロア分のルーバーを示します。各階平面図、及び北立面図を参照下さい。
109			109	
110			110	
111			111	
112			112	
113			113	
114			114	
115			115	
116			116	
117			117	
118			118	
119			119	